

燦 san

能樂 喜多流

第十二回 燦ノ会

能

通盛

佐々木 多門

狂言

伯母ヶ酒

山本 泰太郎

能

海人

友枝 真也

2018年6月2日(土)午後2時開演(午後1時開場)

十四世喜多六平太記念能樂堂

東京都品川区上大崎 4-6-9 電話 03-3491-8813

S席 ¥6,000 / A席 ¥5,000 / B席 ¥4,000 / 二階自由席 ¥3,000

主催 燦ノ会 <http://www.sannokai.net/>

佐々木 多門 大島 輝久 友枝 真也

通盛

前シテ・漁翁
後シテ・平通盛の霊
前シテ連・女
後シテ連・小宰相の局の霊
ワキ・僧
ワキ連・從僧
間狂言・鳴門の浦人
大鼓
小鼓
笛
太鼓
後見
地謡

佐々木多門
大島輝久
宝生欣哉
則久英志
山本泰太郎
原岡一之
鶴澤洋太郎
小野寺竜一
梶谷英樹
塩津哲生
狩野了一
栗谷能夫
他

伯母ケ酒

シテ・甥
アド・伯母
前シテ・蟹女
後シテ・龍女
子方・藤原房前
ワキ・房前の從者
ワキ連・同右
ワキ連・同右
間狂言・志度の浦人
大鼓
小鼓
笛
太鼓
後見
地謡

山本泰太郎
山本凜太郎
大島伊織
工藤和哉
高井松男
梅村昌功
山本凜太郎
白坂保行
田邊恭資
栗林祐輔
林雄一郎
香川靖嗣
栗谷浩之
友枝昭世
他

海人

前シテ・蟹女
後シテ・龍女
子方・藤原房前
ワキ・房前の從者
ワキ連・同右
ワキ連・同右
間狂言・志度の浦人
大鼓
小鼓
笛
太鼓
後見
地謡

友枝真也
大島伊織
工藤和哉
高井松男
梅村昌功
山本凜太郎
白坂保行
田邊恭資
栗林祐輔
林雄一郎
香川靖嗣
栗谷浩之
友枝昭世
他

終了予定 六時半頃

通盛(みちもり)

阿波の鳴門にて修行をする僧が、この海に沈んだ平家一門の供養をしていると、ある夜、年老的な漁夫と若い女が乗った篝火をつけた小舟が沖よりやって来ます。僧の読経の声に気がついた舟の二人は、舟を寄せて篝火の明かりで読経供養を助けます。僧はこの浦での平家の有様を尋ねると、老人と女はこもこもに語り出し、殊に小宰相の局の入水のことを詳しく述べるうちに、海に飛び込んで消えてしまいます。(中人)
驚いた僧は、所者に通盛と小宰相との夫婦の物語を聞き、回向を始めます。やがて夫婦二人の霊が現れて、僧の申いに喜び、在りし日の戦いの前夜の惜別のこと、さらに通盛が合戦で討死した最期を壮絶に語ります。そして夫婦とも成仏出来た姿を僧に示して、また海底へ姿を消してゆくのでした。

伯母ケ酒(おばがぎけ)

酒屋の伯母を持つ甥は、いつも酒にありつこうと思つていますが、しわい(けちな)伯母は、決して振る舞おうとはしません。ある日今日こそはと思つて、甥は伯母を訪ねますが、どう頼んでも断られてしまいます。それでは、と一計を案じた甥は、最近この辺りは鬼が出るようだから気をつけるようにと半ば脅して帰ります。帰るふりをした甥は鬼の面を被つて引き返り、恐れおののく伯母を尻目にまんまと酒蔵に入り込みます。念願の酒にありついた甥ですが酔いがまわるうちに...

海人(あま)

讃岐国志度寺の縁起、また藤原北家の祖、藤原房前の出生譚などを元に作られた能で、この曲のクライマックスである「玉ノ段」は能楽以外の芸能にも取り入れられているよく知られたストーリーです。能では藤原房前が自分の母の追善をするために讃州志度寺へと下ります。そこで出会った蟹女は房前の出生の秘密を明かし、さらに房前の母が龍宮に行つて宝珠を取り返したために命を落としたことを語り、自らはその母の幽霊だと告げて姿を消します。(中人)
後半では房前の追善によって龍女に変化した母の霊が現れ、法華経の功德によって成仏できたことを喜びます。いわゆる狂女物とは違いますが、強烈な母性をテーマにした能と言えます。



燦ノ会とは

「燦・産・三」
我々三人は、能楽喜多流の同期として歩んでおります。
会を立ち上げ、ともに目指すものは今この時に研鑽し合い、個々としても、会としても「燦」の輝きを放つこと。そこから「産」につながっていくこと。意義ある活動の場とすべく「三」の力を合わせてまいります。

大島 輝久(右)

能楽シテ方喜多流職分。能楽協会会員。東京在住。1976年、福山生。喜多流職分大島政允の長男。能大島家五代目。3歳のとき仕舞「狸々」にて初舞台。祖父久見、父に師事。喜多流宗家内弟子を経て現在、喜多流職分塩津哲生に師事。2003年「狸々乱」、2010年「道成寺」、2013年「石橋(赤獅子)」を披く。2013年重要無形文化財総合指定。

佐々木 多門(中)

能楽シテ方喜多流職分。能楽協会会員。東京在住。1972年生。喜多流職分佐々木宗生の長男。3歳のとき「鞍馬天狗」の花見役に初舞台。喜多流宗家内弟子を経て現在、喜多流職分塩津哲生に師事。ゆかりのある平泉・中尊寺能舞台にて、2001年「狸々乱」、2008年「道成寺」にて、一回燦ノ会に於いて「石橋」を披く。2013年重要無形文化財総合指定。

友枝 真也(左)

能楽シテ方喜多流職分。能楽協会会員。東京在住。1969年生。喜多流職分友枝喜久夫の孫。3歳のとき仕舞「月宮殿」にて初舞台。喜多流15世宗家故喜多実入門。喜多流宗家内弟子を経て現在、友枝昭世、塩津哲生に師事。2004年「狸々乱」、2008年「道成寺」、2011年「石橋(赤獅子)」を披く。2013年重要無形文化財総合指定。

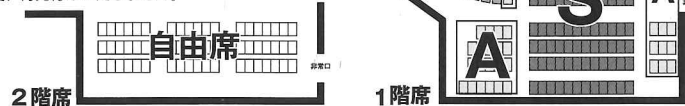
お知らせ
切符のご購入、ならびに公演のお問合せはホームページから、またはお電話で喜多能楽堂までお願いいたします。●燦ノ会ホームページ <http://www.sannokai.net/>

予約開始 2018年4月2日(月) 午前10時～

チケットのご案内

S席 6,000円
A席 5,000円
B席 4,000円
二階自由席 3,000円

※病気その他やむをえない事情で出演者が変更になることがあります。
※許可なき撮影、録音はお断りいたします。
上演の妨げになる携帯電話、アラーム付時計などの電源はお切りください。
※公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し、変更、再発行はいたしません。

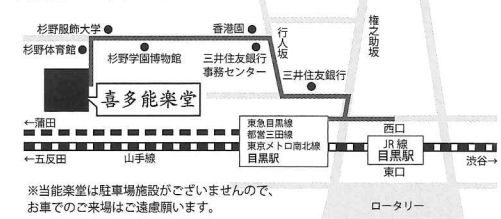


お申込み・お問合せ

公益財団法人 十四世六平太記念財団
十四世喜多六平太記念能楽堂
〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9
TEL: 03-3491-8813

交通案内

J R線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分



※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。